

令和5年第3回嬉野市議会定例会会議録

招 集 年 月 日	令和5年9月1日					
招 集 場 所	嬉野市議会議場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開議	令和5年10月5日 午前10時00分			議 長 辻 浩 一	
	閉会	令和5年10月5日 午前10時46分			議 長 辻 浩 一	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	水 山 洋 輔	出	9番	宮 崎 良 平	出
	2番	大 串 友 則	出	10番	川 内 聖 二	出
	3番	古 川 英 子	出	11番	増 田 朝 子	出
	4番	阿 部 愛 子	出	12番	森 田 明 彦	出
	5番	山 口 卓 也	出	13番	芦 塚 典 子	出
	6番	諸 上 栄 大	出	14番	田 中 政 司	出
	7番	諸 井 義 人	出	15番	梶 原 睦 也	出
	8番	山 口 虎 太 郎	出	16番	辻 浩 一	出

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	村上大祐	市民課長	
	副市長	早瀬宏範	健康づくり課長	
	教育長	杉崎士郎	統括保健師	
	行政経営部長	永江松吾	子育て未来課長	
	総合戦略推進部長	三根竹久	福祉課長	
	市民福祉部長	小池和彦	農業政策課長	
	産業振興部長	井上章	茶業振興課長	
	建設部長	井上元昭	観光商工課長	
	教育部長	山本伸也	建設課長兼 農林整備課長	
	観光戦略統括監	近藤光則	新幹線・まちづくり課長	
	総務・防災課長兼 選挙管理委員会事務局長	太田長寿	環境下水道課長	
	財政課長	中村忠太郎	教育総務課長	
	税務課長		学校教育課長	
	企画政策課長		会計管理者兼 会計課長	
	広報・広聴課長		監査委員事務局長	
	文化・スポーツ振興課長		農業委員会事務局長	
SAGA2024 推進課長		代表監査委員		
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	筒井八重美		

## 令和5年第3回嬉野市議会定例会議事日程

令和5年10月5日（木）

本会議第8日目

午前10時 開議

- 日程第1 発議第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書について
- 日程第2 委員長報告（決算特別委員会）
- 日程第3 討論・採決
- 議案第42号 令和4年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第43号 令和4年度嬉野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第44号 令和4年度嬉野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第45号 令和4年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第46号 令和4年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益余剰金の処分について
- 発議第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書について
- 日程第4 議員派遣について
- 日程第5 閉会中の付託事件について

---

午前10時 開議

### ○議長（辻 浩一君）

皆さんおはようございます。本日は全員出席であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

さきに、先日、委員会発議として総務企画常任委員会から発議第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書についてが提出され、議会運営委員会が開催されました。

日程第1. 発議第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書についてを議題といたします。

朗読を省略して提案理由の説明を求めます。宮崎良平総務企画常任委員会委員長。

### ○総務企画常任委員長（宮崎良平君）

皆様おはようございます。

---

発議第5号

地方財政の充実・強化を求める意見書について

このことについて、別紙のとおり地方自治法第109条第6項及び嬉野市議会会議規則第13条第2項の規定により提出する。

令和5年10月5日提出

嬉野市議会議長 辻 浩一様

提出者 嬉野市議会総務企画常任委員会  
委員長 宮崎 良平

---

理由としましては、我が市においても、子育て支援、介護、医療等の社会保障、災害復旧及び災害への備えにおける防災減災対策、観光、商工業における経済対策、また茶業や農業の施策、そしてインフラ整備、地域公共交通の維持等々、多岐にわたる課題が山積している現況において、さらなる地方財政の充実と強化は必要不可欠であるためでございます。

それでは、本文のほうに行きます。

---

#### 地方財政の充実・強化を求める意見書（案）

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう、医療・介護など社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、デジタル化、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる役割が求められている。

しかし、現実に地域公共サービスを担う人員は不足しており、多忙な職場実態にある中、新型コロナウイルス等の感染症への対応、また多発する大規模災害への対策も迫られている。これらに対応する地方財政について、政府は「骨太方針2021」において、2021年度の地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしているが、それをもって増大する行政需要に十分対応し得るのか、大きな不安が残されている。

このため、2024年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすことが必要である。

よって、国会及び政府に対し、以下の事項の実現を求める。

#### 記

- 1 社会保障の維持・確保、人の投資も含めた地域活性化、デジタル化、脱炭素化、防災・減災、物価高騰対策、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視し、十分な地方一般財源総額の確保をはかること。
- 2 今後一層求められる子育て対策、また地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫することから、地方単独事業分も含め、十分な社会保障経費の拡充をはかること。とくに、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。

- 3 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正にむけては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税の税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
- 4 引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、5類移行後におけるワクチン接種体制や保健所も含めた医療提供体制について、自治体での混乱が生じることのないよう、十分な財政措置やより速やかな情報提供などを行うこと。
- 5 「まち・ひと・しごと創生事業費」の1兆円については、新たに「地方創生推進費」として2023年度も確保されているが、持続可能な地域社会の維持・発展にむけて、より恒久的な財源とすること。
- 6 会計年度任用職員制度の運用については、2024年度から可能となる勤勉手当の支給も含め、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、その財政需要を十分に満たすこと。
- 7 特別交付税の配分にあたり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取り扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。
- 8 デジタル化における自治体業務システムの標準化については、引き続き「地域デジタル社会推進費」に相当する財源を確保するなど、十分な財源を保障すること。とくに戸籍等への記載事項における「氏名の振り仮名」の追加については、自治体において相当な業務負荷が予想されることから、現場における意見を十分に勘案しながら、必要な経費を国の責任において確保すること。
- 9 森林環境譲与税については、より林業需要を見込める自治体への譲与額を増大させるよう、現行の配分基準を見直すこと。特に人口は少ないが、森林面積が多い地域においての優遇制度等、譲与基準の抜本的改革を行うこと。
- 10 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和5年10月5日

佐賀県嬉野市議会

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿  
内閣総理大臣 殿  
内閣官房長官 殿  
総務大臣 殿  
財務大臣 殿

経 済 産 業 大 臣 殿  
内閣府特命担当大臣 殿  
(経 済 財 政 政 策)  
内閣府特命担当大臣 殿  
(地 方 創 生)

---

に送らせていただきたいと思います。

以上でございます。

**○議長（辻 浩一君）**

これで提案理由の説明を終わります。

これから、発議第5号について質疑を行います。

なお、発議第5号は通告の時間がありませんでしたので、通告なしでの質疑を行います。  
質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。ないようですので、これで発議第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書についての質疑を終わります。

日程第2. 決算特別委員会委員長報告を議題といたします。

本定例会において決算特別委員会に付託いたしました議案第42号 令和4年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定についてから、議案第46号 令和4年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてまでの5案を一括議題といたします。

本件に関する委員会審査報告書はお手元に配付しております。朗読は省略して、委員会の審査の結果について委員長の報告を求めます。芦塚典子決算特別委員長。

**○決算特別委員長（芦塚典子君）**

皆さんおはようございます。決算特別委員会の審査報告をただいまよりいたします。

嬉野市議会議長、辻浩一様、決算特別委員会委員長、芦塚典子。

決算特別委員会審査報告書。

本委員会に付託されました、議案第42号 令和4年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について、議案第43号 令和4年度嬉野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、議案第44号 令和4年度嬉野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、議案第45号 令和4年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計決算認定について、議案第46号 令和4年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分について、以上、5議案のそれぞれの会計について、決算特別委員会で審査した結果を会議規則第107条の規定により報告いたします。

審査期間は、令和5年9月28日より令和5年10月4日までの期間です。

審査結果として、議案第42号から議案第46号までの全ての議案について、それぞれの会計の決算は認定すべきものと決定いたしました。

それでは、審査の総合意見を発表いたします。

令和4年度の決算審査は決算特別委員会を設置し、令和4年度嬉野市一般会計歳入歳出決算及び令和4年度嬉野市特別会計歳入歳出決算3件、令和4年度嬉野市下水道事業会計の計5件の議案について決算書及び決算資料に基づき、各分科会において各担当部署からの詳細な説明を受け、事情聴取を行いながら慎重に審査いたしました。

また、平成27年度から分科会において現地調査を行っており、令和4年度決算審査においても現地調査や事情聴取により慎重審議を行い、決算審査に努めました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響は緩和しつつあり、国内産業にも回復の兆しが見えて社会経済活動の持ち直しの動きが働いております。特に国の短期経済観測調査では国内の自動車産業が回復し、非製造業も幅広い業種で改善が続いております。非製造業の中でも特に「観光」や「小売り」などが、コロナ禍からの経済再開やインバウンドの増加で景況感の改善が続き、市税収入等の増収に反映される財政状況にあります。しかし、現在の海外経済の悪化、物価高騰、労働力不足等の影響により、国内の景気判断はいまだ予断を許さない現況であります。本市では、新幹線西九州ルートの開業により、観光業にも客足が戻りつつあり、市内経済の回復の兆しは見えてきております。

では、一般会計の歳入について申し上げます。決算額は214億335万2,000円、前年度と比較して2億2,328万9,000円の増額であります。

増加の主な要因は、「市税」「県支出金」「繰越金」「市債」が増加し、特に固定資産税による市税、農林水産業の事業による県支出金、前年度からの繰越事業による「繰越金」等が増加しております。

減少の主な要因としては、地方税減収補填特別交付金の制度廃止による「地方特例交付金」、それに、子育て世帯への臨時給付金事業の終了による「国庫支出金」、前年度に道の駅用地として売却した分の「財産収入」、物価高騰の影響を受けました「寄附金」、減債基金の繰入れを行わなかったため「繰入金」等が減少いたしました。

収入の主なものとしては、地方交付税51億3,606万9,000円、国庫支出金32億1,103万7,000円、寄付金28億4,427万7,000円、市税26億8,419万2,000円で全体の64.9%を占めております。

主な自主財源である市税については、固定資産税が前年より大幅に増収、市民税、軽自動車税、市町村たばこ税及び入湯税も増収となっており、市税全体の収入額は前年度と比較して、8,611万6,000円の増となっております。

また、市税の収入未済額は前年度と比較して5.4%減少し、また、市税の不納欠損額も全体的に減少しておりますが、固定資産税が特に39.2%減少しており、未収金の処理についても適切な対応がなされている。

市税に限らず、収入未済金全体については、全庁的課題として取り組み、滞納整理や効果的な催促など、適切に対応していただき、収入未済額・不納欠損額の減額に、より一層努められたいと思います。

一般会計の歳出については、205億1,620万円、前年度に対しては4億7,263万3,000円の増加となっております。増額の要因としては、農林水産業費（産地生産基盤パワーアップ事業等）、商工費（新型コロナウイルス感染症関連緊急対策事業）、土木費（嬉野温泉駅周辺整備事業）、災害復旧費（令和3年8月豪雨災害復旧）等によるものであります。一方、減額の要因としては、総務費（ふるさと応援寄附金事業等）、民生費（住民税非課税世帯等や子育て世帯への給付金）、消防費（消防団退職報償金等）、教育費（情報通信ネットワーク整備事業）等によるものです。

一般会計の歳入総額は214億335万2,000円、歳出総額は205億1,620万円、歳入歳出差引額は8億8,715万2,000円であります。

歳入歳出差引額8億8,715万2,000円から、翌年度に繰り越すべき財源1億834万2,000円を差し引いた実質収支額は7億7,881万円となっております。前年度の実質収支額が8億7,355万8,000円でありましたので、前年度の実質収支額と比較した場合、単年度収支額は9,474万8,000円の減となっております。令和4年度決算では剰余金が前年度より減少した結果となっております。

以下、一般会計におきます財政指標並びに一般会計歳入の財源については、皆さんに配付の資料を御一読いただければと思います。

それでは、4ページに移りまして、特別会計について御報告申し上げます。

特別会計については、令和4年度から、嬉野市農業集落排水特別会計、嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計、及び嬉野市浄化槽特別会計は地方公営企業法を適用した下水道会計（公営企業会計）へ移行いたしました。また、嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計及び嬉野第八土地区画整理事業費特別会計も保留地処分に係る起債の償還が終了したため令和3年度で廃止となっております。

以下、特別会計については全会計において実質収支が黒字になっており、健全な維持が図られております。引き続き適正な運営に努められたいと思います。

それでは、次に、各担当課への指摘事項について述べさせていただきます。

5ページに移ります。

#### 【総務・防災課】

- ① 消防団の報酬及び待遇改善、また消防団員の適正な定数見直しに関しては、消防団との協議の上、早急に嬉野市消防審議会を開催し改善を図るべきである。
- ② 空き家等実態調査においては、防災の観点からだけでなく、空き家の有効活用という観点からも調査結果をほかの課と共有し連携しながら、空き家対策を推進すべきである。

#### 【財政課】

- ① 旧市体育館等解体事業において旧社会体育館解体後の用途が決まっておりません。そのような課題がある中、そのほか市有財産とともに有効的な活用と計画的な維持管理、また売却等も視野に入れた抜本的な施策を講じるよう努めるべきである。

#### 【税務課】

- ① 市税全体においては徴収率の改善が見られ評価できるものの、滞納繰越分においてはさらなる徴収努力を図るべきである。また、県への派遣等も含めた人員をしっかりと確保し、滞納者への様々な角度からの徴収に向けた対策に努めるべきである。

#### 【企画政策課】

- ① 新庁舎建設においてCM（コンストラクション・マネジメント）を活用して進められているが、今後も基本設計・実施設計と進めるに当たり、CM事業者の活用にあたっては、コスト面、機能面等において市として最大の効果が図られるよう努められたい。さらにその効果を数値等において示すべきである。
- ② 結婚支援事業においては事業の成果が見えにくい状況である。潜在的に結婚支援を必要とする方の掘り起こしと、県が取り組まれている事業、民間事業との連携も視野に入れ取り組むよう努めるべきである。

#### 【広報・広聴課】

- ① 女性が輝くまちづくり推進事業において、「嬉野市スポーツフューチャーセンター設置基本構想」が策定されておりますが、クリエイティブな構想なだけに、到達目標の明確さに欠ける。継続的に、明確に市民に分かりやすい事業のあり方を示すべきである。

#### 【文化・スポーツ振興課】

- ① スポーツライフ推進事業の各種イベント及び教室の参加人数においては改善が見られる。しかし、連携協力協定を結ばれている委託先への市の貢献ははるかに大きいものと考えるので、スポーツだけの視点にとどまらず、地域の課題解決等、大きな視点での連携協力に向けた関係性を保つべく努めるべきである。

#### 【SAGA2024推進課】

- ① 企業協賛において、2件の協賛をいただいている。大変なことではあるが企業協賛への理解とお願いに今後とも努めていただきたい。
- ② 選手、関係者の宿泊において、料金面、または配宿のあり方においても課題がある。しかしながら例年になく大きなイベントであり、より多くの選手、関係者へ宿泊していただけるよう、県、宿泊事業者とのさらなる協議に向け努めていくべきである。

#### 【市民課】

- ① 中長期在留者居住地届出等事務においては、在留外国人が年々増加している状況である。窓口においては、現在のところ大きなトラブルはないと聞くが、災害時の対応等も踏ま

え、今後も各担当課で情報共有を図り、丁寧な対応を求める。

#### 【健康づくり課】

- ① 妊婦健康診査において、妊婦歯科検診受診率が41.4%と低くなっております。受診率向上のため杵藤広域圏内での受診が可能になるよう取り込むべきである。また、妊婦健康診査時等に歯科検診の周知もこれまで以上に取り組むべきである。
- ② 健康マイレージ事業においては、令和3年度は定員800人で申請者は751人、令和4年度は定員700人で777人の申請がありました。申請者数は増加傾向にあり、市民の健康増進のためにも予算の増額を検討すべきである。また、商品券に代わる「うれしかード」等へのポイント付与の早急な対応を求める。

#### 【福祉課】

- ① 福祉バスにおいては、現在、吉田地区一円で運行されているが、運行開始時より利用者も年々減少している。今後は、福祉的な立場から、多様なバス活用も検討すべきである。また、専用車両も10年を経過し走行距離も22万キロメートルであることから、今後は買い換えも必要と思われるので、計画的な予算化をすべきである。
- ② 避難行動要支援者個別計画策定業務においては、対象者数1,180人（施設入所者も多い）ということで、そのうちの724人が名簿提供同意者であり、個別避難計画作成者数は668人である。残り未作成者数は453人である。令和4年度は当初予算47万円の計上に対して2分の1以下の21万9,000円が決算額である。災害等の発生時には必要なことなので、早急に策定すべきである。また、支援が必要な独居老人や高齢夫婦等にも避難行動計画書を早急に策定すべきである。

#### 【教育総務課】

- ① 小学校、中学校の学校管理費工事請負費の営繕費において、エアコンの故障（小学校12台、中学校5台）で緊急的に修理が行われていた。節間の流用で工事が行われ、授業に影響はなかったとのことであるが、小・中学校の空調設備においては設置から10年程度経過している設備もあり、教育環境の維持や長寿命化のためにも、定期的な点検と更新も含め計画的な予算化を検討すべきである。
- ② 奨学資金貸与事業は、556万9,000円が収入未済額となっております。現年度分徴収率は92.14%、過年度分は8.77%である。住所追跡等の徴収努力はされておりますが、次に貸し付ける財源確保、また、公平性確保のためにも過年度分を含め、督促の方法を検討すべきである。

#### 【農業委員会】

- ① 農地転用承認に関しては、農業委員会では転用者と地域とのトラブルを防ぐために、転用者並びに地権者に対して承諾書の提出等を行われておりますが、強制力がないため農業委員会独自での指導では限界があります。また、開発に際し排水路等の不備や耐用年

数の過ぎた太陽光パネルの処理等にも課題があります。農地を守り、適切に運用するため、特に数年来の課題である太陽光発電設置事業は嬉野市独自の条例等の制定を強く求めます。

#### 【農業政策課】

- ① 有害鳥獣被害防除対策事業は、駆除者の後継者に関しては若干名の増であるが、今後も猟友会と連携し、官民一体となって後継者育成に取り組むべきである。また、捕獲獣処分に関しての課題が長年解決されていない状況です。最終処分の対策を早急に取り組むべきである。
- ② グリーンツーリズム推進事業は、地球環境の保護と地元コミュニティとの共生を目指し、旅行者、観光業者、行政、地域のコミュニティが協力して、持続可能な未来を築くためにも取り組むべき事業である。今後は、観光商工課も取り組まれている嬉野版DMOとの連携を図り事業を行うべきである。

#### 【茶業振興課】

- ① うれしの茶交流館「チャオシル」は、新型コロナウイルス感染症等の影響も緩和され、担当課の努力により入館者数が増加しております。指定管理等の運営に向けて取組を検討されているが、新幹線開業を契機に他の所管との連携を図り、民間のノウハウを活用し、さらに充実するよう努めるべきである。
- ② うれしの茶需要拡大対策事業では、全国茶品評会において毎年好成績を収められております。この実績を今後の販路拡大に生かすようなPR等の事業を、さらに積極的に取り組むべきである。

#### 【観光商工課】

- ① 就業対策支援事業では、他市との連携により、隙間時間を活用し、仕事を望む求職者と人手の確保を望む企業とのマッチング事業「よかワーク」の実施により、多様な働き方を創出し、多くの市民に活用され成果が見られます。今後も、市民への周知も含めさらなる事業の取組強化を求めます。
- ② 嬉野版DMOを核とした地域ブランドづくり推進事業では、成果が見えにくい状況であります。令和4年度に観光戦略にも策定されたことで観光地域の魅力を向上させ、観光業を持続可能なものとするため地域経済の発展、雇用の創出、文化的資産の保護などに努めるために、行政も含めた組織体制の強化に努め、強力に推進すべきである。

#### 【新幹線・まちづくり課】

- ① 未来技術社会実装事業でバーチャル嬉野・嬉野散歩では、観光交流施設まるくアイズの中でのVRゴーグルのメニューが少ない状況であります。塩田津等も含めた嬉野市全体の魅力ある情報を観光客に伝えるべく早急に内容の充実を図るべきである。
- ② 嬉野地区（441ページで訂正）デマンド交通実証運行事業において、自宅と主要施設を

結ぶ実証実験が行われましたが、令和4年度では利用件数が少なく改善の余地がありません。運用に向けては市民の利便性を十分に考慮して進めるべきである。

#### 【環境下水道課】

- ① 昨年に引き続き佐賀県西部広域環境組合に対して、ごみの排出ルールの統一化について指摘を行いました。現在、5市4町のごみ袋の統一化に向けての協議をされておりますが、施設の長寿命化や燃料高騰で構成市町には今後も大きな負担が考えられます。本市もゼロカーボンシティ宣言をしており、構成市町には改めて排出ルールの統一化を強く要望すべきであります。
- ② 塵芥処理事業では、中継基地において大型のごみも常時、人力にて作業を行われており負担が大きくなっております。労働環境の改善も考え、小型重機等の導入も検討すべきであります。

#### 【建設課】

- ① 令和4年度の予算執行として、令和2年度及び令和3年度に発生した自然災害による災害復旧事業に対して、所管及び請負業者が多忙となり市道新設改良工事並びに社会資本整備総合交付金事業等が多額の繰越明許となっております。理解はいたしますが、地域の要望等を含め、市民のインフラ等に関しては早期の整備を求めます。

#### 【農林整備課】

- ① 地域農業水利施設ストックマネジメント事業で、馬場下排水機場の長寿命化及び冠水対策として外部操作盤のかさ上げや施設の開口部の止水壁の設置及びオペレーターの避難用のタラップの改修が行われておりました。現地での確認を行いました。排水機場においては、市民の生命、財産を守る重要な施設であり、他の施設においても十分な調査を行い有事の際にオペレーターが安心して運用ができるように環境の確保を求めます。
- ② キャンプ場管理費として広川原キャンプ場の運営に関しては、新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者が激減いたしました。令和4年度には前年度比として3割増となっております。しかし、コロナ禍前と比較すれば8割弱であり、今後は50人バンガローの跡地活用並びに施設のWi-Fi環境の拡大を図り、これまで以上に施設の魅力をPRし、運営の充実を求めます。

以上、各課に対する指摘でございました。

以上のように、慎重な審査を行いました。委員会の全体会において全ての質疑を終了した後、本委員会に付託されたこれらの会計につきまして、一般会計、嬉野市国民健康保険特別会計、嬉野市後期高齢者医療特別会計、嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計、嬉野市下水道事業会計の4件（441ページで訂正）につきましては、その決算を全て全員一致で、いずれも認定すべきものと決定いたしました。

最後に、まとめとして報告いたします。

今回の決算特別委員会審査においては、嬉野市議会改革の一環である議会ICT化の推進として、パソコン機器を活用し提出された決算資料の議案質疑並びに決算審査分科会において、決算審査の効率化と迅速化を図りました。したがって、情報処理の迅速化により詳細並びに多数の情報の受入れが可能となり、今後、各課におきましても、事業等の詳細な資料の提供を求め、また、さらなる慎重審査を図っていききたいと念ずるところです。

先ほどの指摘事項については、市長をはじめ、執行機関におかれましては十分に検討の上、適時適切な処置を講じられるよう求めるものであります。最後に、令和4年度は、西九州新幹線嬉野温泉駅開業という大きな記念事業があり、新しい嬉野市の誕生の年でもありました。しかし、現在の世界情勢は厳しい状況にあり、さらに難しい財政運営になることが予測されますが、各会計の円滑な運営を図るとともに、「歓声が響きあう嬉野市」を目指し、市民の福祉の向上のために行政運営に尚一層努力されることを期待し、委員会報告といたします。

以上、令和4年度決算特別委員会の審査報告といたします。

**○議長（辻 浩一君）**

以上をもって決算特別委員長の報告は終わりました。

暫時休憩します。

午前10時38分 休憩

午前10時40分 再開

**○議長（辻 浩一君）**

再開いたします。

先ほどの委員長報告の中で訂正する部分がありますので、再度、訂正の発言を許します。芦塚典子決算特別委員長。

**○決算特別委員長（芦塚典子君）**

先ほどの決算特別委員会審査報告書において訂正部分がありますので、ここで訂正をさせていただきます。

7ページの新幹線・まちづくり課に対する指摘報告ですけど、2番目の塩田地区デマンド交通実証運行事業という点において、嬉野地区ということをお願いしたということですので、塩田地区デマンド交通実証運行事業に訂正させていただきます。

それともう一件、最終のところ委員会の全体会においての報告です。委員会の全体会において、全ての質疑を終了した後、本委員会に付託されたこれらの会計につきまして、一般会計、嬉野市国民健康保険特別会計、嬉野市後期高齢者医療特別会計、嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地地区画整理事業費特別会計、嬉野市下水道事業会計の4件と申しましたが、以上5件でありますので、その訂正をお願いいたします。

以上です。よろしくお願いいたします。

**○議長（辻 浩一君）**

ただいま決算特別委員会委員長から訂正がありました。よろしいでしょうか。よろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、日程第3. 討論・採決を行います。

議案第42号 令和4年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定についてから議案第46号 令和4年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてまでの5件については、さきの決算特別委員長からの報告のとおり、全ての会計の決算は全会一致での認定であります。ただし、議案第46号については、認定及び可決であります。よって、討論を省略して一括して採決を行います。

本決算は、委員会報告のとおり認定することについて、また、議案第46号については、認定及び可決することについて、賛否の投票を求めます。それでは、投票してください。

〔押しボタン式投票〕

投票を締め切ります。全員賛成であります。したがって、議案第42号 令和4年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定についてから議案第46号 令和4年度嬉野市下水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてまでの本決算は、いずれも委員会の報告のとおり認定し、議案第46号については、認定及び可決することに決定をいたしました。

次に、発議第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書についての討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討論なしと認めます。これで発議第5号の討論を終わります。

発議第5号について採決をいたします。

発議第5号を原案のとおり決定することについて賛否の投票を求めます。

〔押しボタン式投票〕

投票を締め切ります。全員賛成であります。したがって、発議第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書については可決をいたしました。

日程第4. 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。嬉野市議会会議規則第163条の規定により、お手元に配付しておりますとおり、議員を派遣したいと思います。また、閉会中において議員派遣を行う必要が生じた場合、その日時、場所、目的及び派遣議員等の諸手続については議長に一任いただきたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議員派遣についてはそのように決定をいたしました。

日程第5. 閉会中の付託事件についてを議題といたします。

このたび議会運営委員長、産業建設常任委員会委員長及び各特別委員会委員長からお手元

に配付しました別紙付託文書表のとおり、閉会中もなお継続して調査をしたいとの申出がありました。

お諮りいたします。各委員長から申出のあったとおり、閉会中、継続調査とすることについての御異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、各委員長から申出のとおり、閉会中の付託事件は継続調査とすることに決定をいたしました。

以上で本定例会に提出された案件の質疑、討論・採決など全ての日程が終了いたしました。

お諮りいたします。本定例会において議決されました各議案について、条項、字句、数字、その他の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決定をいたしました。

会議を閉じます。

令和5年第3回嬉野市議会定例会を閉会いたします。

午前10時46分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 辻 浩 一

署名議員 川 内 聖 二

署名議員 増 田 朝 子

署名議員 森 田 明 彦